



**◆黒崎のクスノキ (大字岬)**

濃い緑が煙る黒崎公園の玉垂神社にひっそりと、でも堂々と立つクスノキ。幹に近づくと、参加者から「はあー」と静かな溜息がもれた。樹齢は300年以上と推定。



**◆上内のイチイガシ (大字上内)**

ブナ科の常緑高木。どんぐりの木としても親しまれる。このイチイガシは、幹の模様が美しく、木の勢いがよいのが魅力。木の高さは、25メートルを超える。樹齢は200年以上と推定。上内八幡宮内。

連載記事「おおむた自慢」も今回で9回目となりました。昨年の8月号では祇園六山の大蛇山製作現場を取材させて頂いたな…とあつという間の一年を思い出してしまいました。毎号、テーマについて悩む「おおむた自慢」ではありますが、皆さんに興味をもっていただけるような紙面づくりに今後も励みたいと思います。(R)

# 巨木は語る

連載  
おおむた自慢

おおむたには、樹齢数百年を超える巨木がたくさんあります。数百年のときを超えて、今も私たちを静かに見守り続けています。今回は、「巨木ツアー」(主催: 大牟田市、協力: 大牟田生物愛好会)に同行し、取材しました。

それぞれの木が、長い年月を生き抜いてきた風格があり、じっと耳をすますと、300年の歴史を静かに語りかけてきます。あなたのお気に入りの巨木をみつけてみませんか。



**◆四大丸のイチョウ (大字教楽来)**

遠くから眺めても存在感がある。市内のイチョウの中でも最大級。正往寺の境内にそびえたつ。お寺の屋根とのコントラストが、このイチョウの悠々とした姿を際立たせる。「堂々と生きていく」と言っているかのよう。樹齢は300年以上と推定。秋の紅葉の時期は、特に見応えあり。



**◆土穴のエノキ (大字櫟野)**

里山の石垣の丘にたつこのエノキは、形状がみごと。苔むした幹、伸び伸びと広がる枝葉には、めずらしいチョウや虫、鳥がたくさん集まっている。

樹齢300年以上と推定。「土穴」の名前は、櫟野の北部山麓に奥深い穴があったのが由来といわれている。



**◆今山のガリュウバイ (大字今山)**

近づくと梅の香がぷーんと漂う。大きな梅がなっており、花の季節とはまたちがった顔に出会えた。樹齢450年以上と推定。普光寺内。

母樹から古幹が這い全長24メートルに及び17株の叢(そう)が連なる。



緑のカーテンを  
つくっている  
吉野小学校  
緑化委員会

**■編集議会報編集委員会**

【委員長】吉田康孝 【副委員長】北岡あや

【委員】大野哲也 平嶋慶二 森 竜子

**■発行 大牟田市議会**

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail gikaijimu01@city.omuta.lg.jp